

# 令和5年度 研究構想図

【学校教育目標】

夢と高い志を抱き、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

【めざす子ども像】

- 課題を発見し、解決する子ども
- 伝え合い、認め合い、協力し合う子ども
- 意欲をもって、行動する子ども
- 自分を、ふりかえり、生かす子ども

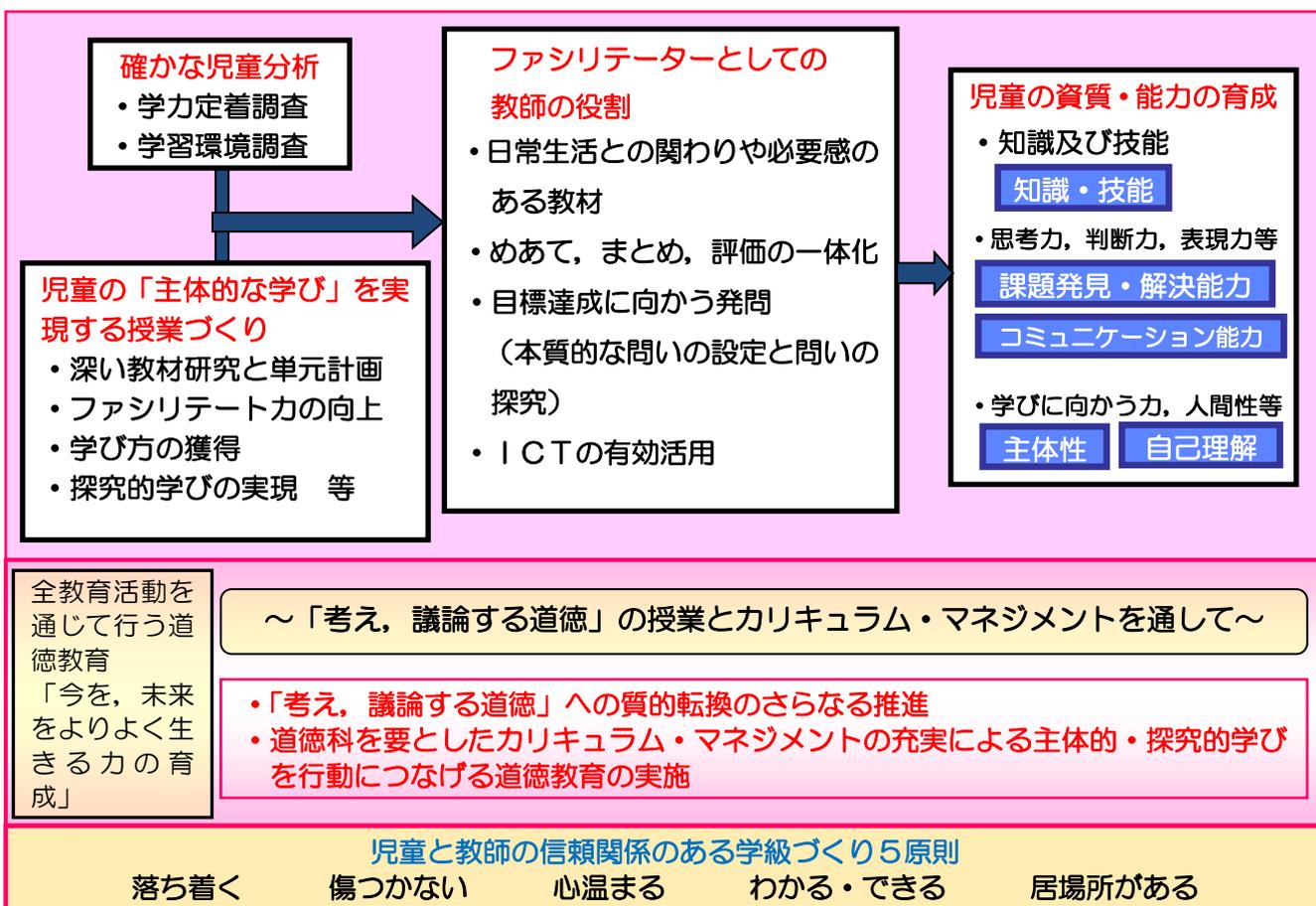
研究主題

児童が「主体的な学び」を実現する授業づくり  
—深い教材研究と「主体的な学び」の視点に立った授業を基盤として—

【研究仮説】

算数科を中心として教材研究を行い、授業のファシリテーターとしての力をつければ、児童の「主体的な学び」を導くことができ、目指す資質・能力を育むことができるだろう。

\*ファシリテーター … 子ども同士の学び合いを支援し、推進する裏方のリーダー。



【成果指標】

- ア 標準学力調査の達成度（標準学力調査の全国平均を上回る児童 国語科 70%、算数科 70%）
- イ 単元末テスト平均（低学年 90、中学年 85、高学年 80 以上）児童の割合 70%
- ウ 資質・能力にかかわる児童・教師アンケート平均 3.2（年2回の平均）
- エ 道徳アンケート 重点項目平均 85%
- オ 算数科における適用問題での本時の学習の定着確認 80%
- カ ファシリテーターとしての自己評価平均 3.2（年2回の平均）